

- 3 人口資質からみた疾病および死亡に関する研究
  - (1) 疾病と死亡との関連に関する分析
  - (2) 周産期死亡に関する研究
  - (3) 死亡構造の地域的特性
- 4 人口資質と集団遺伝学に関する研究
- 5 人口資質，特に死亡に関する国際的比較研究

#### 人口資質部能力科

- 1 人間能力の理論と分析方法に関する研究
- 2 社会環境と人間能力との関連に関する研究
  - (1) 出生力の分析
  - (2) 体位および体力の分析
- 3 労働力人口，特に婦人労働に関する研究
- 4 人間能力損傷度に関する研究
- 5 人間能力，特に栄養に関する国際的比較研究

#### 資料課

- 1 人口統計の解析的研究
- 2 世帯統計の解析的研究
- 3 簡速静止人口表の作成とその諸方法の評価と分析
- 4 「第5次出産力調査」結果の分析
- 5 人口統計資料の評価，補正および利用に関する研究
- 6 特殊資料に基づく人口に関する研究
- 7 資料の編成
  - (1) 人口統計資料の編成
  - (2) 人口図および人口地図の作成
  - (3) 人口に関する文献の編成
- 8 所の発行する資料の編集および配布
- 9 図書・資料の収集および管理
- 10 定例研究報告会およびシンポジウムの開催
- 11 資料の照会に対する相談

## 昭和43年度実地調査の施行

人口問題研究所では、昭和43年度の実地調査として「人口の移動性と社会的・経済的要因との関係に関する調査」を6月1日をもって実施する。その要綱を掲げると次のごとくである。なお、今回の調査は人口移動部の担当において行なわれる。

### 人口の移動性と社会的・経済的要因との関係に関する調査要綱

(昭和43年4月1日)

#### 1 調査目的

人口移動に関する資料は、最近かなり整備されてはきたが、国民各自の生活歴に即した職業の変化やそれに伴う社会的地位および居住地・従業地の変動などに関する分析にはなお欠けるところが多い。特に大都市への人口集積の激化に伴う過密，および農林の過疎の問題に対する対策樹立のための基礎的資料はなおきわめて不備である。

この調査は、このような欠陥を補うため、個人の職業移動歴を中心として、それに伴う地域移動の変化を明らかにするとともに、住んでいる地域と仕事に関する意識を尋ね、わが国の人口移動が時代とともにどのような変化を示しつつあるかを明らかにして、今日、わが国人口問題の中心課題である人口および労

働力の適正な、地域ならびに産業への再配分の課題に不可欠の資料を提供することを目的とする。

2 調査方法

配票自計主義によると同時に調査員による点検と補完記入を行なう。

3 調査対象

全国の20歳以上の男子3,240万(本研究所推計による昭和43年10月1日現在のもの)の2,000分の1に相当する約16,000人。

4 調査地域

北海道、東北北部、東南北部、北関東、東京、大阪、名古屋の各大都市地域とその周辺、東海、北陸、甲信、山陰、山陽、四国、九州の各代表地域の中から、市および人口集中地区人口の増加率の高い大中小都市という基準に基づいて次の諸都市を選び、各都市の人口集中地区より国勢調査調査区を1県平均20調査区を選定する(下表参照)。

人口の移動性と社会的経済的要因との関係に関する調査対象地域  
(各都市の人口集中地区から調査区を選定する)

府 県 名	市 区 名	人口増加率 (昭35~40)		人 口	市 区 名	人口増加率 (昭35~40)		人 口
		市・区 全 域	人 口 集中地区			市・区 全 域	人 口 集中地区	
1 北海道	札幌市	32.2%	34.8%	794,908人	苫小牧市	31.1%	29.6%	81,812人
2 岩手県	盛岡市	12.4	14.5	176,967	大船渡市	6.7	19.0	38,347
3 山形県	形市	2.7	13.1	193,737	天童市	- 1.4	85.7	43,903
4 栃木県	宇都宮市	11.2	16.5	265,696	小山市	8.6	19.1	90,632
5 東京都	練馬区	42.2	54.8	434,721	江戸川区	27.9	36.9	405,139
6 埼玉県	大宮市	26.9	26.0	215,646	本庄市	9.1	7.1	43,032
7 長野県	長野市	7.7	9.3	172,836	岡谷市	9.1	10.2	56,986
8 静岡県	浜松市	7.3	4.7	169,636	静岡市	2.2	23.7	50,114
9 愛知県	名古屋	11.8	8.8	367,705	江津市	12.1	21.4	159,880
10 大阪府	守山区	35.2	80.4	79,469	江津市	25.4	43.4	61,773
11 大阪府	松原市	52.5	92.4	71,406	寝屋川市	126.3	280.3	113,576
12 鳥取県	鳥取市	1.4	3.3	108,860	境港市	0.4	2.2	32,846
13 広島県	広島市	16.9	16.4	504,245	府中市	11.4	21.4	45,341
14 高知県	高知市	11.0	15.0	217,889	中村市	- 8.3	7.1	35,717
15 福岡県	福岡市	13.4	9.7	749,808	柳川市	- 2.3	21.8	47,549
16 宮崎県	宮崎市	9.9	11.1	182,870	日向市	7.4	10.5	43,678

(資料) 昭和40年国勢調査報告。

5 調査期日

昭和43年6月1日

6 調査事項

- (イ) 調査対象者の基本的人口学的事項
- (ロ) 調査対象者の職業移動歴
- (ハ) 調査対象者の父に関する事項
- (ニ) 調査対象者の現在住んでいるところに対する意識
- (ホ) 調査対象者の現在の仕事に対する意識
- (ヘ) 調査対象者の各種地域に対する意識ならびに食生活に対する態度

定例研究報告会の開催

(昭和43年1月~3月)

<回>	<年月日>	<報 告 題 名>	<報 告 者>
26	昭43. 1. 17	昭和42年度調査研究実績概要報告.....	各 部 科・課
27	昭43. 1. 24	昭和42年度調査研究実績概要報告(つづき).....	各 部 科・課